



ヴァイオリン：
石田 泰尚*

(京響特別客演コンサートマスター)

Violin: Yasunao Ishida
(Special Guest Concertmaster
of the CKSO)*

©Norizumi Kitada/
Universal Music



指揮：川瀬 賢太郎

Conductor: Kentaro Kawase

©Yoshinori Kurosawa

助成：



文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan

文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会

京都市交響楽団

The 686th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

京都市交響楽団
第686回
定期演奏会

川瀬賢太郎の新世界、
そして石田泰尚ソロで
ウイントン・マルサリスの
ヴァイオリン協奏曲

2024

2/17(土)

午後2時30分開演
(午後1時30分開場)

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

Sat, February 17, 2024 / 2:30PM

Kyoto Concert Hall

マルサリス：
ヴァイオリン協奏曲 ニ調*

ドヴォルザーク：
交響曲 第9番 ホ短調 作品95
「新世界から」

Marsalis: Violin Concerto in D*

Dvořák: Symphony No.9 in E minor op.95

"From the new world"

開演前
(午後2時ごろから)
は指揮者による
「プレトーク」で
お楽しみください。
「プレトーク」はホール・ステージ上
にて開催します。



©京都市交響楽団

入場料 2023.12.27(土)から発売

◎5,500円 ▲5,000円 ④4,000円 ③3,000円 ②2,000円 (舞台後方席)

「U22」(当日残席がある場合のみ発売)

◎2,000円 ▲1,500円 ④1,000円 ③1,000円

※22歳以下のお客様が対象です。開演1時間前から発売(当日券売場にてお買い求めください)。
電話や窓口での事前予約はできません。席種は選べますが、座席指定はできません。
ご購入及びご入場の際には年齢の確認できる証明書をご提示ください。

チケット
ご予約

- 京都コンサートホール (075) 711-3231
- ロームシアター京都 (075) 746-3201
- 24時間オンラインチケット購入 <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード 227-677
- ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード 54229

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075) 222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/>
京都コンサートホール (075) 711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>

©未就学のお子様のご入場はお断りいたします。©都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2024年2月9日までに京響075-222-0347へお申し込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。京響(075-222-0347)までお問い合わせください。
- ◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱います(窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。



主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団



協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。



2006年東京国際音楽コンクールで最高位(2位)に入賞した川瀬賢太郎は神奈川フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者を8年間務めました。また2022年4月から札幌交響楽団正指揮者、同年9月からオーケストラ・アンサンブル金沢パーマネント・コンダクター、そして2023年4月からは名古屋フィルハーモニー交響楽団音楽監督に就任しました。今シーズンの京響では、神奈川フィル時代の盟友石田泰尚をソリストに迎え、ウイントン・マルサリスのヴァイオリン協奏曲を披露します。マルサリスがガールフレンドであるニコラ・ベネデッティのために書き下ろしたこの協奏曲は、ジャンルを超えた作品としてジャズファンにもクラシックファンにも受け入れられる新たな魅力を持つ作品です。4つの楽章(1. Rhapsody 2. Rondo Burlesque 3. Blues 4. Hootenanny)からなり、演奏時間は43分という大作です。プログラム後半は、ドヴォルザークの交響曲第9番「新世界から」をじっくりとお聴きいただきます。タイトル付きの名曲は数々ありますが、我々の日常のあちらこちらで耳にする機会がベートーヴェンの「運命」に続いて多いのは、この「新世界から」ではないでしょうか。そのキャッチーなフレーズは日本だけではなく世界中の人たちの耳に残り、親しまれています。川瀬賢太郎のマルサリスと「新世界から」は、このシーズン全プログラムの中で一聴に値する選曲です。



The 686th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

指揮 **川瀬 賢太郎** Conductor: Kentaro Kawase

1984年東京生まれ。私立八王子高等学校芸術コースを経て、2007年東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻(指揮)を卒業。これまでに指揮を広上淳一、汐澤安彦、チョン・ミョンフンなどの各氏に師事。2006年10月に行われた東京国際音楽コンクール(指揮)において1位なしの2位(最高位)に入賞し、2007年3月には入賞者デビューコンサートで神奈川フィルハーモニー管弦楽団および大阪センチュリー交響楽団を指揮。その後、東京交響楽団、読売日本交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団を始め、各地のオーケストラから次々に招きを受ける。2011年4月には名古屋フィルハーモニー交響楽団 指揮者に就任、意欲的な選曲と若さ溢れる指揮で聴衆を魅了。2014年4月より神奈川フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者に就任。卓越したプログラミングを躍動感あふれる演奏で聴衆に届けている。海外においてもモリ・ド・フランス国立オーケストラとの共演や、ユナイテッド・インストゥルメンツ・オヴ・ルシリンと共演。オペラにおいても、細川俊夫作曲「班女」、「リアの物語」、モーツァルト作曲「後宮からの逃走」、「フィガロの結婚」、「コジ・ファン・トゥッテ」、「魔笛」、ヴェルディ作曲「アイダ」など目覚ましい活躍を遂げている。2007年～2009年パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)アシスタント・コンダクター。現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団音楽監督、札幌交響楽団正指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢パーマネント・コンダクター、三重県いなべ市親善大使。2015年渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第64回神奈川文化賞未来賞、2016年第14回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第26回出光音楽賞、第65回横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)特任講師。



©Yoshinori Kurosawa

ヴァイオリン **石田 泰尚** (京響特別客演コンサートマスター) Violin: Yasunao Ishida (Special Guest Concertmaster of the CKSO)

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来「神奈川フィルの顔」となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。結成時から30年参加するYAMATO String Quartet、自身がプロデュースした弦楽アンサンブル「石田組」など様々なユニットでも独特の輝きを見せる。2018年には石田組がNHK-FM「ベストオブクラシック」およびBSプレミアム「クラシック倶楽部」で放送されその熱いステージの模様は大きな反響を呼び、2019年にはEテレ「ららら♪クラシック」で特集が組まれた。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスターを兼任。2022年6月に初の著書となる「音楽家である前に、人間であれ!」を刊行。2023年には石田組のアルバム『石田組 2023・春』、『石田組 2023・夏』を連続リリースした。使用楽器は1690年製 G.Tononi、1726年製 M.Goffriller。



©Norizumi Kitada/ Universal Music

京都市交響楽団 City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2015年、第12代常任指揮者の広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞、同年6月、広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収めた。平成28年度地域文化功労者表彰、2017年「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞等を受賞。2020年4月、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一(2022年3月まで)、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッド(2023年3月まで)が就任。2008年4月から2022年3月まで14年間にわたり常任指揮者を務めた広上淳一のもとでは、数々の名演を生み出して黄金時代を築き上げた。2023年4月から第14代常任指揮者に沖澤のどかが就任、さらに2024年4月からは首席客演指揮者にヤン・ヴィレム・デ・フリーントが就任予定。京響は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。



©井上亨事務所 井上嘉和

次回予告

リターン・オブ・広上淳一! 円熟のピアニスト、ジャン・エフラム・バヴァゼを迎えてバルトークの協奏曲第2番を共演します

2024.1/19(金)から発売!

第687回
定期演奏会

©K.Miura ©B.Ealovega

会場 京都コンサートホール 大ホール	指揮 広上 淳一	独奏 ジャン・エフラム・バヴァゼ(ピアノ)*
2024 3/15(金) 午後7時30分開演	フライデー・ナイト・スペシャル (休憩なし・約1時間プログラム)	2024 3/16(土) 午後2時30分開演
ラヴェル: 亡き王女のためのパヴァーヌ(ピアノ独奏)*	ラヴェル: 「鏡」から「道化師の朝の歌」(ピアノ独奏)*	ラフマニノフ: 交響曲第3番 イ短調 作品44
入場料 S 4,000円 A 3,500円 B 3,000円 C 2,000円 D 1,500円(舞台後方席)		入場料 S 5,500円 A 5,000円 B 4,000円 C 3,000円 D 2,000円(舞台後方席)

♪開演前
プレトーク
あり